

第2回 CiNii Research に関する検討会議事次第

日 時：2020年10月19日（月）13：30 ～ 15：00

場 所：オンライン会議

出席者：大向（東京）、嶋田（筑波）、田口（東京）、菅原（一橋）、田邊（物質・材料研究機構）、大波、小野、片岡（以上、NII）、阪口、大澤（以上、NII・事務局）

議事

1. CiNii Research に関する検討会のウェブページ作成について（報告）（資料1）
2. 図書館総合展について（報告）（資料2）
3. 試験公開時の名称について（審議）（資料3）
4. 試験公開版 CiNii Research の課題について（意見交換）（資料4）
5. その他

配布資料

委員名簿

- 資料 1. CiNii Research に関する検討会のウェブページ作成について
資料 2 図書館総合展について
資料 3 試験公開時の名称について（案）
資料 4-1 試験公開版 CiNii Research の課題について
資料 4-2 CiNii Research フィードバック対応スケジュール
資料 4-3 一般利用者からのフィードバックについて
資料 4-4 CiNii Research の画面遷移図

議事要旨

- 1 CiNii Research に関する検討会のウェブページ作成について（報告）
事務局より、資料1に基づき、報告があった。

[主な論点]

- 現時点では、当検討会は大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議（以下、連携・協力推進会議）下に設定されている訳ではないという認識で正しいか。
 - 現在は、単独で存在している状態である。今後、連携・協力推進会議下に入るかは、当検討会をどう発展させていくかによる。（NII）

- 2 図書館総合展について（報告）
事務局より、資料2に基づき、報告があった。

[主な論点]

- 外部の講演者の方には、どのような話をしていただく予定か。
 - 東京大学の三輪先生と物質・材料研究機構の松田先生には、将来的にデータ連携をする、という立場からの CiNii Research への期待に関する話とドメインスペシフィックなデータ共有の背景について述べていただく予定である。北海道大学の前田様には、図書館員から見た CiNii Research への期待についてお話しいただく予定である。(NII)
- 外部の講演者の方にも、試験公開版を公開しているのか。
 - アクセス情報をお伝えし、説明も別途実施している。(NII)

3 試験公開時の名称について（審議）

事務局より、資料 3 に基づき、説明があり、以下の意見交換の上、決定は NII に一任することになった。

[主な論点]

- 「CiNii Research プレ版」の印象をお伺いしたい。
 - プレ版とベータ版の違いが分からなかった。明確に「開発版」としても良いのではないかと思った。ロゴはこれから作るのか。NII の他のサービスは試験公開時にどのような名称にしていたか。
 - ◇ 既存のロゴに「プレ版」とつける予定である。NII の他のサービスについては、CiNii Research のように開発途中のサービスを公開することがあまりなかった。(NII)
 - 違和感はないように思う。検討過程で出た他の名称案があれば、教えていただきたい。
 - ◇ 試験公開版、テスト版、評価版、プレ公開版、プレビュー版、ベータ版、アルファ版が候補として挙げられた。(NII)
 - 近い将来に本稼働されるという印象を受けた。印象と実態に大きな差異がなかったように思うため、「プレ版」で良いかと思う。
 - 短く、使いやすい名称だと思う。「プレ版」と聞いて、「プレミアムバンダイ」と被ってしまわないかと思った。
 - 試験公開版に触るまでは、「機能評価版」が良いかと思っていたが、そこまで保守的にならなくても問題ないかと思った。ただ、造語なので、定義を聞かれる可能性が高いと思う。「〇〇版」と正式版とは違うものとするから、名前が必要になるため、解決策として、「CiNii Research プレビュー」というように、状態を指すようにすれば良いかと思う。どちらにしる、説明は必要になるため、別途案内するウェブページを用意すべきだと思う。
 - weblio の「プレリリース版」の説明 (<https://www.webl.io/content/%E3%83%97%E3%83%AC%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9%E7%89%88>) では、「ソフトウ

ェアなどで、製品として正式にリリースする前段階のバージョンを指す表現。」とある。この「プレリリース版」を訳して「プレ版」と言えないか。

- 12月までのフィードバックで得た意見は、4月の本番公開で一気に反映するのか。
 - 4月にまとめてではなく、軽いものから対応していき、適宜リリースしていく予定である。(NII)
- 資料 4-2 のスケジュールも総合展で発表する想定か。
 - おおまかなスケジュールも示す予定である。(NII)
- 正式版との違いは何か、いつ機能が完成するかを聞かれることが多々あるので、徐々に機能をリリースしていくのであれば、必ずしも「〇〇版」としなくても良いのでは。

4 試験公開版 CiNii Research の課題について（意見交換）

事務局より、資料 4-1～4-3 に基づき、試験公開版 CiNii Research の課題、フィードバック対応スケジュール、一般利用者からのフィードバックについて説明があった。続いて、大波委員より、資料 4-4 に基づき、CiNii Research の画面遷移図について説明があった。

[主な論点]

- 別途コメントをいただいているが、改めて実際に触ってみた感想をお伺いしたい。
 - 良い点としては、プロジェクトのエンティティについて関連論文が表示される点が挙げられる。悪い点としては、検索結果一覧画面にてデータの種別が何かアイコンで表されているが、分かりにくい。
 - 検索結果一覧画面に研究データも表示されることで、研究データが発見しやすくなったように感じる。一方、「Web Site」のリンクがいくつも並ぶ点は見づらいつと感じた。
 - 関連情報を表示できる点良かった。気になった点としては、研究データの検索結果一覧画面にて、作成者とその他のメタデータの表示位置が離れているように感じた。
 - 他の CiNii シリーズと同様に検索速度が速く良い。ただ、リンクボタンが多数表示されるが、本文へのリンクかどうか分かりにくい点と「>」「<」が実体参照になっている点が気になった。
 - ◇ 実体参照については、エスケープの処理を 2 回しているためかと思う。確認する。(NII)
 - 指摘は伸びしろになると思うので、今後は細やかな機能にも手をかけられたらと思う。今までにないものとして、異なる種別のデータが並ぶ、関連情報が見ることができるという点があるため、利用者には新鮮に映るのではないかと思う。
- 検討会外で出た意見があれば、共有いただきたい。
 - NII 内部から出た意見として、「データソース種別」について、「JaLC」

「SSJDA」等の略語が分かりづらいのではないかという意見や研究データに関連している論文を抽出したいという意見があった。また、関連情報をナレッジグラフとして取り出すAPIが欲しいという意見もあった。(NII)

- 研究データについては他の機関とのデータ連携が必要となるが、データソースにリスペクトを表明するため、由来を明示しても良いかと思う。データ連携を前向きに検討してもらった際、所属機関の内部向けにも説明しやすくなると思う。
- 研究データについて、他のサービスで活用されることを意識していないと、登録されるメタデータの中身が薄くなってしまいがちで、こうした背景を知らない一般の利用者は（メタデータの中身が薄いことに）違和感を覚えると思う。JaLCに十分なメタデータを登録すれば、CiNii Researchでも十分なメタデータが表示されることを示すことで、適切なメタデータ登録の促進にも繋がるのではないかと。
- 研究データに限らず、CiNii Researchにどうデータを提供いただくかが今後重要になると思う。小さな学会からするとどうしたらCiNiiに掲載されるかが切実な問題になっている。データの連携方法について、どのようなルートが良いか今後議論できればと思う。
 - 個別対応は難しい部分もあるが、一方で最近の学会の動向に合わせる必要もある。情報の流れの見取り図を提示することが第一歩になると思う。

5 その他

- フィードバックはメールアドレスではなく、お問い合わせフォームが良いと思う。
 - 検討する。(NII)
- 図書館総合展で発表する日に、CiNii Researchをオープンにするため、フォーラム開始前には認証を外す予定である。(NII)